

キャラクター名
フィアナ・バーレイグ

プレイヤー名

種族	ラルヴァ	種族特徴	暗視、弱体化、吸血の祝福、忌むべき血		
生まれ	拳闘士	性別	男	年齢	30代前半
冒険者Lv	7	経歴	同胞に家族を傷つけられた		
経験点	0		人族の親から生まれた先祖がえり 第一の神の声が聞こえた		

技	11	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	6	1		18	3
体	9	敏捷度	9	4		24 + 2	4
		筋力	17	5		31 + 2	5
		生命力	2	1		12	2
心	11	知力	11	3		25	4
		精神力	6	1		18	3

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	7		
コンジャラー	3		
スカウト	2		
エンハンサー	3		

戦闘特技			
追加攻撃	220 p		p
投げ攻撃	225 p		p
カウンター	2120p		p
魔力撃	227 p		p
両手利き	223 p		p
武器習熟/格闘	221 p		p
マルチアクション	2125p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔法文明語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術			
マッスルベアー			
ガゼルフット			
キャッツアイ			

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	7	10	11	12
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク			筋力			回避力			防護点			
鎧	アラミドコート				5			1			2			
盾														
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)														
回避技能	グラップラー							合計値	12			3		

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アクセルブローグ グラップラー専用、キック強化	1H#	5		2d+ 10	10	13	20										
投げ グラップラー専用	2H	0		2d+ 10	12	13	0										
牙 <吸血の祝福>による獲得	2H#	1		2d+ 10	9	13	11										
ダガー +100GIにより 魔法の発動体。 武器として使用せず、発動体としてのみ使用。	1H投	3		2d+ 0	10	0	3										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	31 m	93 m

回避	防護点
2d+ 12	3

HP
33

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
操霊魔法	3	7			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 6

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 9	2d+ 10

MP
27

装備品	説明
頭	
耳	
顔	眼鏡 シャンデル製。割れるとかなしい。
首	
背中	
右手	疾風の腕輪 敏捷+2。壊すと一度だけ敏捷+14。
腰	ブラックベルト 防護+1。格好いいと思って装着したらしい。
足	韋駄天ブーツ 移動力+5
その他	

装備品	説明
左手	怪力の腕輪 筋力+2。壊すと一度だけ筋力+14。

<p>— その他メモ —</p> <p>★一般技能 … 作家:5 学者:5</p> <p>父も母も、それから弟も、正しく人間だった。然し彼は、彼だけは違った——。</p> <p>気怠けに酒場の片隅で憂い、多くを面倒臭がり、書物と世間話に明け暮れ 怠惰で達観。</p> <p>実際はお節介焼きの働き者。所謂昼行燈。夜は眼鏡を外してやや冷めた一面、諦めの悪さは人一倍。</p> <p>彼はラルヴァ—— 隔世遺伝。父母の先祖の何処かに在ったラルヴァ、或いはノスフェラトゥの血による。</p> <p>親は受け入れ、周囲に蛮族である事を隠して育ててくれ幸せであったが、所詮望まれぬ血、それも長くは続かない。</p> <p>ある日彼と家族は蛮族に襲われ、家族共に命からがら生還するも 彼とその弟を庇った父母の傷は決して浅いものではなかった。</p> <p>自らがラルヴァで在るから、狙われたのだ。それを知ったフィアナは家族に別れを告げ、遠くへ、蛮族に襲われつつ逃げ達せた。</p>	<p>自動失敗 チェック</p> <p>□□□□⑤</p> <p>□□□□⑩</p> <p>□□□□⑮</p> <p>□□□□㉓</p> <p>□□□□㉔</p> <p>□□□□㉕</p> <p>□□□□㉖</p>
--	---

